

# 「高次脳機能障害者の就労に 役立つ視聴覚教材の開発」



**独立行政法人高齡・障害・求職者雇用支援機構**  
**障害者職業総合センター職業センター開発課**  
○武内 洵平・坪 千弘

## 当センターの紹介

# 障害者職業総合センター職業センターにおける 高次脳機能障害者の支援プログラム

**休職者**

職場復帰支援  
プログラム  
(16週間)

**求職者**

就職支援  
プログラム  
(13週間)



自己理解の深化、職業的課題に対する  
対処手段と対処行動獲得のための支援

## 当センターの紹介

同時に、、、

# 高次脳機能障害者に対する 職業リハビリテーション技法の開発



その成果を「支援マニュアル」や「実践報告書」に  
まとめ、広く伝達・普及を行っている。

(参考)

支援マニュアルNo.24  
「注意障害に対する学習  
カリキュラムの開発」  
※令和5年3月発行



実践報告書No.36  
「記憶障害に対する学習  
カリキュラムの紹介」  
※令和3年3月発行



## 技法開発の背景

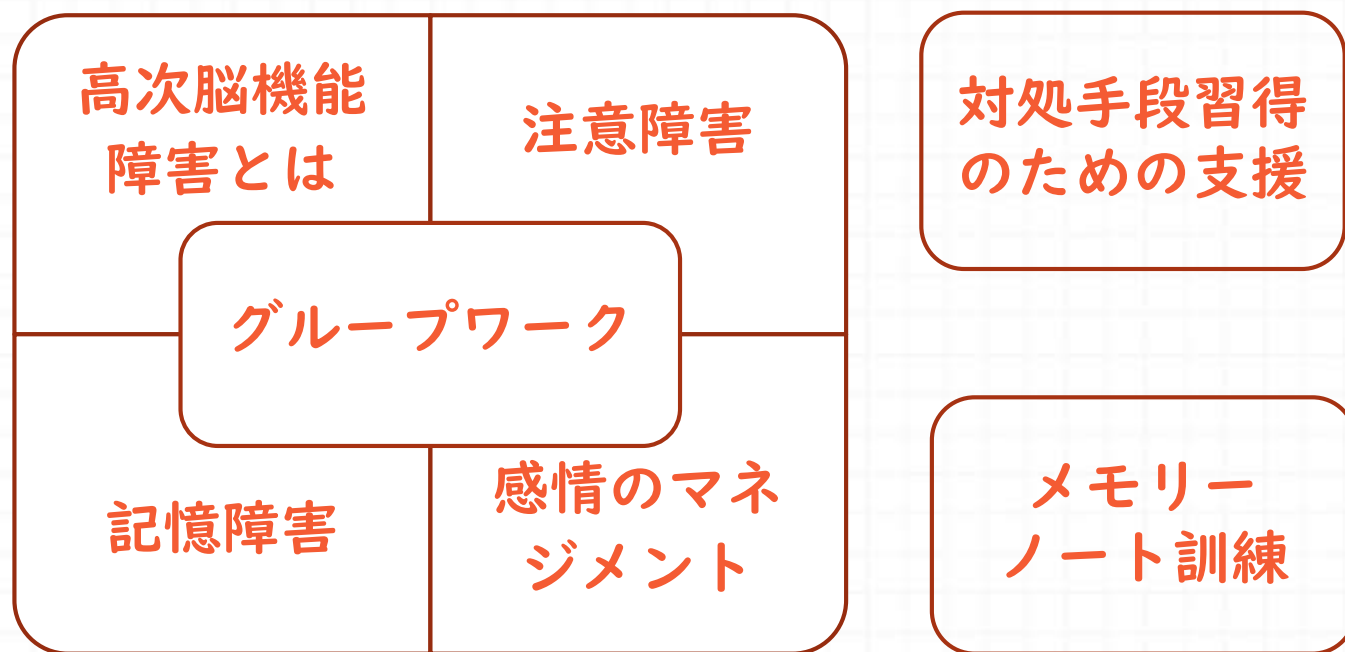
全国の地域障害者職業センターを対象に実施した  
「支援技法開発のニーズ等に係るヒアリング調査」  
(令和3年度)

新しい生活様式への対応として在宅で  
対象者が単独で自分の特性を考えられる  
ツール等がほしい

個別相談の際に映像などを見ながら対象者  
と支援者が一緒に障害特性について学べる  
教材がほしい

## 技法開発の背景

以上のニーズ等を踏まえ、  
当センターで実施していた支援内容を整理



地域センターや就労支援機関等において個別支援やオンライン支援時に活用できる視聴覚教材の開発に取り組む

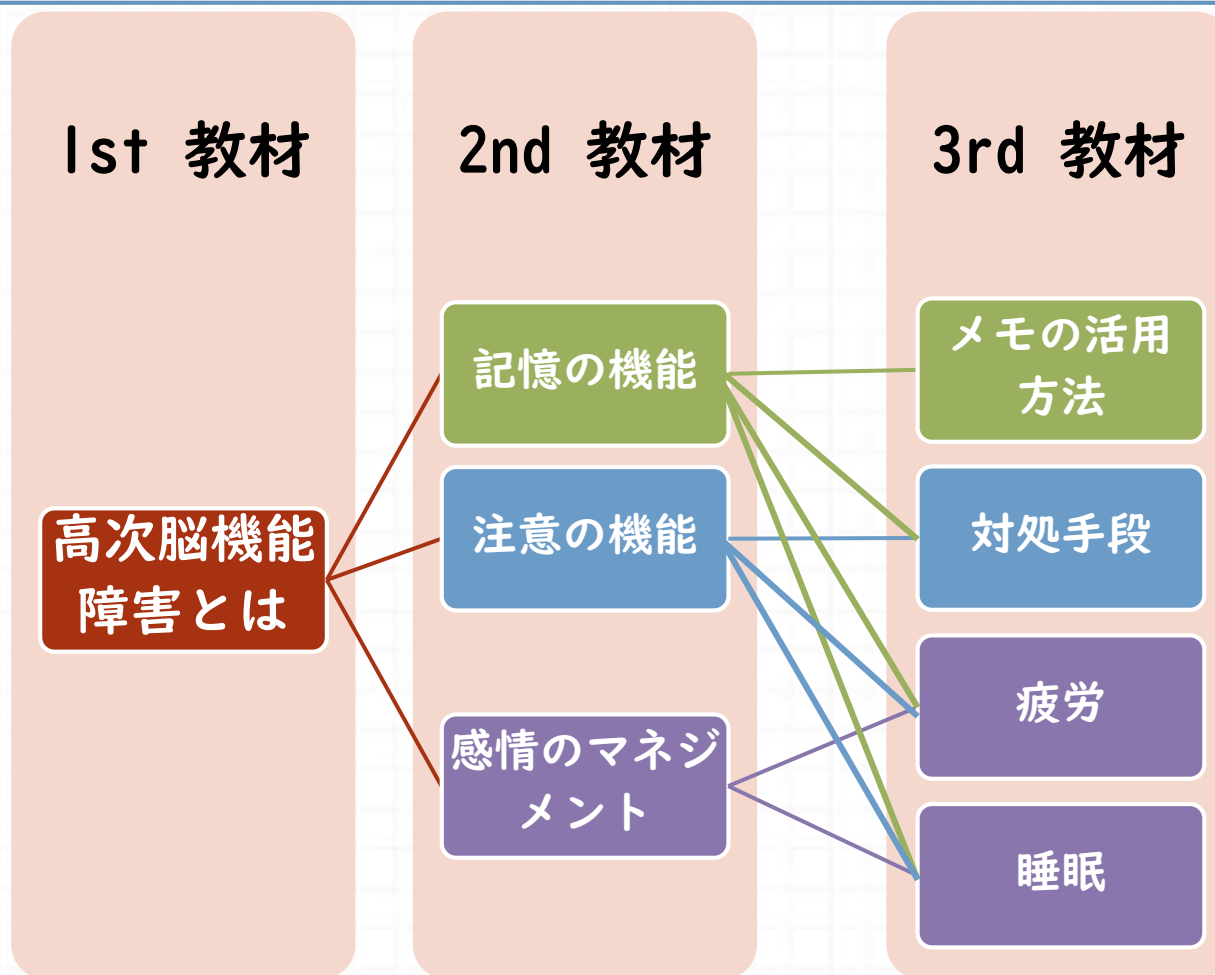
## 視聴覚教材について

○職業センターの実践から、プログラムで実施しているグループワークに**体験ワーク（演習）**や**高次脳機能障害者同士の意見交換**が含まれていることが、障害特性について理解を深める上で効果があがりやすいことが分かっていました。

⇒グループワークの内容を主に視聴覚教材を作成

○パワーポイント資料に合成音声をつけて動画に編集。  
各視聴覚教材とも20～30分程度の時間にまとめる。

# 視聴覚教材の概要



【高次脳機能障害とは】の次に各症状をさらに理解する教材【記憶の機能】【注意の機能】【感情のマネジメント】を作成。また、各症状や職業的課題に対する対処方法を紹介した教材【メモの活用方法】【対処手段】【疲労】【睡眠】を作成した。



# 視聴覚教材の内容

## 体験 ワーク

- ・ 体験ワーク（演習）を個別に実施できるように教材に盛り込んだ（ワークシートを活用）

### <体験ワークの例>

体験2

#### 目で見える続けられる力の体験

●問題

えせはわかつりらひいまとろせわおあもたこなぬほろらうみき  
やへみんさらよはくちおむあるひすてえふぬせかおまへめふり  
けせれむちをたりそらみこえしはあかほておまきうろとわのい  
むふにちらんうよわはろかさきあたりけいひせこふはむぬたお  
そりえけみらすうちとおっこいりへえなけめよははとりわさよ  
んわうせろそえきあみぬたそほおましせいほかふとわりさえき  
ひあむらもこみきろすはきけてむえむあいらおかすけわろみち  
なえぬきふいなへにらしふりいあしすはつふかりちえよらふり  
ぬきんのらまろむせよいつむそさたはろこよろうあみすむのま  
おけえるせめはわふさんちきたなるしをりむおそさほらけいぬ  
おはほりわあまかなむちひよえらあにみすう

【注意の機能】



## 視聴覚教材の内容

### 障害者の 意見を知る

- ・意見交換の代わりとして、職業センターのグループワークに参加した受講者の意見を教材内で紹介するようにした

<例>



【記憶の機能】

# 視聴覚教材の内容（一部を紹介）【高次脳機能障害者とは】

紹介する内容

- 1. 高次脳機能障害の原因
- 2. こんなことはありませんか？【記憶障害】
- 3. こんなことはありませんか？【注意障害】
- 4. こんなことはありませんか？【遂行機能障害】
- 5. こんなことはありませんか？【行動と感情の障害】
- 6. こんなことはありませんか？【失語症】
- 7. こんなことはありませんか？【半側空間無視】

メニュー画面

こんなことはありませんか？

次の会議いつだったっけ？

また同じこと聞いている...

各障害のエピソード

何度も同じ質問をする

こんなことはありませんか？

ものをどこに置いたか忘れてしまう

約束したことを忘れてしまう

何度も同じ質問をする

⇒ こういった状況は『**記憶障害**』の人にみられる特徴です。

記憶障害とは

脳の中央部にある**海馬**が損傷された場合  
新しいことが覚えづらくなる。

脳の前方にある**前頭葉**を損傷した場合  
覚えたことを正確に思い出せない。

障害の説明と対処策

記憶障害の対処策  
何度も同じ質問をする

メモに残す

メモを見る場所に貼る。  
メモを常に携帯して確認できるようにする。

10

## 想定している視聴覚教材の活用方法

### 支援者と対象者が一緒に視聴

- ・対象者は教材を視聴し、自分自身の障害特性や特性に合った対処手段について気づきを得て、ワークシートにまとめていく。さらに、ワークシートを基に支援者と相談を行うことで気づいた内容を深めていく。

### 事業主や家族が視聴

- ・高次脳機能障害者を雇用している事業主や高次脳機能障害者の家族が【高次脳機能障害とは】等を視聴して障害のことを適切に理解してもらう。

## 想定している視聴覚教材の活用方法

### 支援者が視聴

- ・ 高次脳機能障害者の支援経験の乏しい支援者が視聴することで、就労支援を進める参考としてもらう。  
（例）【注意の機能】を視聴  
注意の4つの機能に沿ったアセスメントの視点を  
得ることができる

### 発達障害や精神障害などの対象者が視聴

- ・ 【高次脳機能障害者とは】以外の教材は発達障害や精神障害など認知機能に障害のある対象者にも視聴してもらうことで特性や対処方法の整理に役立てることができる。

## 今後の方向性

- 令和5年7月～10月、地域障害者職業センター、就労移行支援事業所、回復期リハビリテーション病院を通じて、支援者及び利用者に視聴覚教材の試案を活用してもらった。
- 現在は支援者や利用者の使用した感想や使用による効果を確認しながら、視聴覚教材の作成を進めるとともに、活用方法、留意事項、支援事例等を取りまとめている。

⇒2024年3月に支援マニュアルとして発行する予定である。（視聴覚教材は添付のDVDに収録）